

消防署からのお知らせ

◎新型コロナウイルス感染症に感染していると疑った時は

感染が疑われる場合は、119番通報、医療機関を受診する前に必ず帰国者・接触者相談センターに電話相談してください。

- ・感染が疑われる場合……………帰国者・接触者相談センター ☎ 0120-567-747
- ・県の対策や予防方法を相談する場合……………一般相談（コールセンター） ☎ 0120-567-177

◎119番通報をした方全員に質問します

- ・感染者及び濃厚接触者との接触歴 ・家族の発熱の有無 ・咳の症状はあるか
- ・味覚嗅覚障害はないか
- ・特定警戒都道府県に行っていないか ・県外から家族が帰省していないか など

上記のような点を新型コロナウイルスが疑われなくても、感染予防のため質問させていただいていますのでご協力お願いいたします。

◎救急隊の感染症対策

須賀川地方広域消防組合では新型コロナウイルス感染対策を強化しています。

- ・救急隊はすべての救急出場に「全身の感染防止衣」を着装しています。
- ・救急隊員が厳重な装備をしていたり、消毒を行っているからといってすべて新型コロナウイルス感染症の疑いがあるわけではありません。ご協力とご理解をよろしくお願いいたします。



救命講習会の開催について

新型コロナウイルスの影響により6月以降の救命講習会の開催については未定となります。

講習会の詳細は平田分署へお問い合わせいただくか須賀川地方広域消防組合ホームページをご覧ください。

石川消防署平田分署（☎ 55-2213 FAX 0248-94-2079） <http://www.sukagawa119.jp>

健康アドバイス

公立小野町地方総合病院

令和2年6月から「こころの診療科」を開設し、高齢者の物忘れや小児の発達障害などにも対応しています。

- ・物忘れ ・落ち着きがない ・一つのことに執着する ・強い^{かんしゃく}癇癪をおこす

上記のような症状が気になるようであれば、一度外来看護師にご相談ください。専門の医師が予約制で診察し、必要に応じて学校や児童相談所など関連機関との調整もします。

また、コロナウイルス感染症の対策として、開院を7時30分に早め混雑を減らし、感染疑いのある患者さんとその他の来院患者さんの動線が交わらないよう診察することで院内感染を防ぐなど、安全で安心できる診療体制に努めています。

発熱や身体の変異がありましたら、まずはお電話でご相談ください。症状を伺い、医師がお薬を処方することも可能な場合があります。ご協力お願いします。

外来看護師長 吉田 初江

～外来診療のお知らせ～

金澤壮一医師（長橋病院副院長）による「こころの診療科」

◎診療日／火曜日（午前）隔週 ※予約制

診療日の前日までに電話（☎ 0247-72-3181）にてご予約いただくようお願いいたします。

詳しくは、病院ホームページまたは電話にてご確認ください。

内科 整形外科 小児科 眼科 耳鼻咽喉科 皮膚科 泌尿器科 形成外科 婦人科
他甲状腺 腎疾患 内視鏡 各種検診

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の終息には時間がかかります。一人ひとりの行動が「自分を守り、大切な人の命を守る」ことにつながります。今後も感染予防についてご協力をお願いします。

「新しい生活様式」を習慣化していきましょう。

国が新型コロナウイルス感染症を予防するための実践例を示したものです。家庭や学校、会社などでお互い協力していきましょう。

コロナ疲れかなと思ったら

外出自粛・臨時休校などの生活の変化や、ウイルスに対する不安などから無意識のうちにストレスはかかっています。

「怒りっぽい」「眠れない」「やる気が起きない」「食欲がない」などの症状はありませんか。

- ・ 朝決まった時間に起きる
(朝日を浴びる)
 - ・ バランスの良い食事をする
 - ・ 睡眠を十分にとる
- (眠りのためのホルモンの作用を妨げるスマホなどのブルーライトを就寝前は避ける)

このような生活リズムを整えることを心掛けましょう。不調が続く場合は医療機関などに相談しましょう。

下記のこと注意して、新型コロナウイルスに感染しないようにしましょう。

※詳しくはこちらをご覧ください。→



※厚生労働省「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」(2020年5月4日)を元に作成

健康アドバイス

ひらた中央病院

肝臓癌について



今井 政人 医師

肝臓にできる悪性の腫瘍を肝臓癌と言います。転移性の肝癌については転移もとの癌の性質により治療方針が大きく異なりますので、ここでは肝臓の病気である原発性肝癌の話をします。

原発性肝癌の9割は肝臓の主要な細胞である肝細胞が癌化した肝細胞癌です。他に肝臓内の胆汁の通り道をつくる胆管細胞癌などがあります。

日本では年間4万人の方が罹患し、3万5千人の方が亡くなっています。罹患率、死亡率とも男性は女性の3倍高率です。臓器別死因として、男性では肺癌や胃癌に続き第3位、女性では第5位となります。次回詳しくお伝えします。

お問合せ先：ひらた中央病院 ☎ 55-3333